

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-30542
(P2002-30542A)

(43)公開日 平成14年1月31日(2002.1.31)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
D 0 3 D 15/02		D 0 3 D 15/02	D 3 B 1 2 0
E 0 4 F 13/00		E 0 4 F 13/00	B 4 L 0 4 8
// A 4 7 G 27/02	1 0 1	A 4 7 G 27/02	1 0 1 C

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全 5 頁)

(21)出願番号 特願2000-251668(P2000-251668)

(22)出願日 平成12年7月18日(2000.7.18)

(71)出願人 597093148

川崎 哲夫

宮崎県えびの市大字原田256番地

(72)発明者 川崎 哲夫

宮崎県えびの市大字原田256番地

Fターム(参考) 3B120 AA04 BA02 BA12 BC01 EA18

EB13 EB22

4L048 AA07 AB13 AB35 BA04 DA00

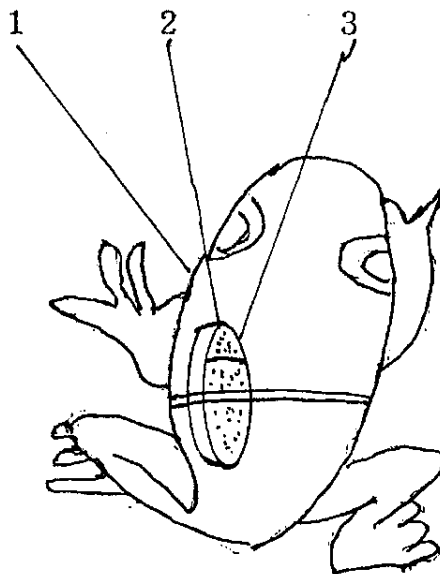
DA17

(54)【発明の名称】 魚食性ブラックバスの退治用具

(57)【要約】

【目的】 魚食性のブラックバスを退治する目的用具。

【構成】 ブラックバス、の餌に糊で接着したゼラチン製円筒型筒に魚を殺す薬剤を保有している円筒を食べさせる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】装飾色彩を完了した、物を各室内や天井、部屋の型色彩等に合わせ自在に切断した、イ草のご座、によるクロス。

【発明の詳細な説明】

【0001】本発明は、イ草を知らない日本人はまずいないだろうが、現在そのほとんどが自分の力でリフォームしている。部屋づくりは、畳にウッドカーペットを敷くことからスタートしている。この、イ草のご座をクロス

10

【0002】わが国では古くから用いられてた。しかし古代では現在のように敷きつめるのではなく、必要なとき、人のすわる場所に敷かれたといわれる。このように厚さもうすく、持ち運びも容易になり寺の方丈などに用いられるようになった。近年になり家の建築も変わり床も板張壁や天井もクロス張りとなり変わったので、素材や質感そのものがイヤとう不満が部屋の悩みの中でもなかなか深刻である。

【0003】縦来、新築は快適に、余暇に暮らせる住まいづくりをめざしているが、何ににこわだつて新居で使う建材や設備を選ぶか、便利さ、美しき、質感など、選ぶ基準はいくつもあると思うが、最近室内がクロス張になつたが多くの人が白に統一しているのは、無難な色だからです。然し室内の白色による色は、病院ばいから気

20

にいらない、と言う人は年お取るに付け多くなりっある。これから先部屋別にクロスや他の品物を張るについて、研究する必要が有あ、住まいが変れば暮らしが変る家庭となる。

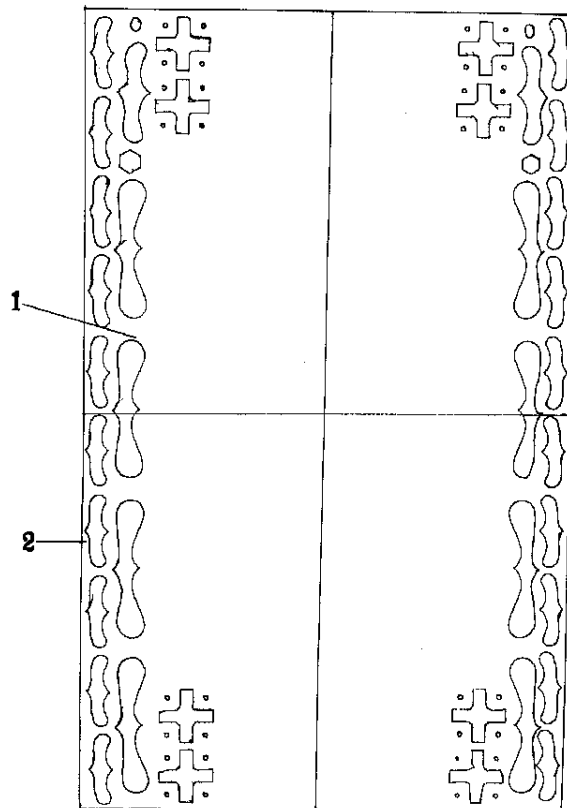
【0004】本考案は、天井関係、部屋関係に活用セレレクトしている、イ草の御座による壁及び天井のリメイクで部屋及び天井はこんなに変わる。イ草のご座による匂いは新しいシンプルな寝室さらに部屋のイメージ左右するのは、実は天井でありこわ音楽を聴きながらくつろぐことだけを考え天井に重点をおいている。住まいの中で最も多目的に使われるリビング、ダイニング。家族が集まって喋りや食事を楽しんだり子共の宿題の会場となるため、部屋の色合又壁面は大胆な使い方で、自在に、1い草、ご座の切り取りを必要とする。夏違う表情をもっているのものでコーナー別に色分けした、くろろげる部屋にするは室内は夏は涼しく冬は暖かい、イ草のご座を細工装飾したそれを図面について説明すれば、い草ご座をみ居心地のいい部屋全体を壁面ごとに分けたディスプレイに、縁を広くした2を組合わせ居心地の良さそうな、グラデーションガ構成できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】装飾色彩を完了した、縁の幅広いイ草のご座を室内1の部屋、天井、壁等に合わせ、2ご座を自在に切断して1と接着する。

【図1】

装飾完了した各部屋、天井、壁部分を大きなイ草のご座1をその型を自在に切断したものを2接着し完了するイ草のご座の、正面図である。



【手続補正書】

【提出日】平成13年3月26日（2001. 3. 26）

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正内容】

【書類名】明細書

【発明の名称】魚食性ブラックバスの退治用具

【特許請求の範囲】

【請求項1】 魚食性ブラックバスは、餌を一気に飲み込む魚であるからゼラチン製で出来た、円筒型の筒に魚殺しの薬剤を保管させる。

【発明の詳細な説明】

【0001】本件は、水性に生息する魚類を全て食い荒らす、魚食性のブラックバスであり在来種は一度壊滅すると再生することはできない。

【0002】縦来、我が国に生息していた魚類は、数多

い種類の魚が生息していたが、当調査によれば、1925年水産振興を目的に米国から持ち込まれ、その後の放流で全国各地に分布。近年スポーツの対象魚として人気をよんでいる。ブラックバスの産卵は6月頃産卵し、一つの巣に産む卵の数はだいたい5000-7000、粒ぐらいだ。ブラックバスハ体長5cmをこえると、完全な魚食性になるが食性は荒あらしく、まさに水中のギャングである。このように年間莫大な数が生魚になるため、我が国の魚をべ荒らせば破滅につながる。

【0003】したがって、ブラックバスの稚魚は、成長するにつれて食性が変化する。動く物には全て反応を示すようになり、小魚、昆虫はもちろん、海老類や、ザルガニ、ウナギ まで餌にしてしまう。そこで殺魚剤を入れたゼラチン製円筒型筒をブラックバスの、餌の体にゼラチン製円筒型筒を、糊で装着する。ブラックバスは餌を一気に丸飲みするのでゼラチン製円筒型筒がブラックバスの腹の中で溶けるが、ゼラチン製円筒型筒も1日ぐらい、腹の中にあるので、ゼラチン製円筒溶が溶けて

死滅する。ゼラチン製円筒も1日ぐらいで溶ける糊に浸す。餌は乾いた布で水気を取り、餌に糊づけをしたら、両面紙テープで、ゼラチン製円筒型筒を巻く。このようにすれば外敵は退治することができる。1日も早く退治する事である。

【図面の簡単な説明】

【図1】魚食性、ブラックバス退治のため、殺魚剤をいれた、ゼラチン製円筒型筒を糊で餌に挿着した、ブラックバス退治用具の平面図。

＊【符号の説明】

- 1 ブラックバスの餌
- 2 魚殺剤が入っている、ゼラチン製円筒型筒
- 3 餌に挿着された、ゼラチン製円筒型筒

【手続補正2】

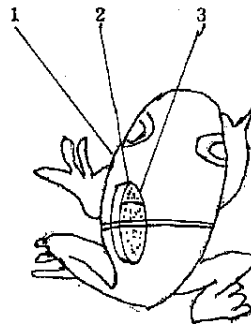
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

【補正方法】変更

【補正内容】

【図1】



【手続補正書】

【提出日】平成13年6月15日（2001. 6. 15）

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】魚食性ブラックバスは 餌の魚を一気に飲むので 餌になる魚の体にゼラチン製で出来た円筒型の中に魚殺し薬剤並びに鉛針を保管する。

※

【請求項2】ブラックバスの餌は生きた魚食であるため餌が減少している為小さい生餌の金魚、及び泥じょう更、に蟹当全ての生きもの体には、ゼラチンの体にゼラチン製の円筒を取付け円筒の中に、ブラックバスを魚殺る物を保管する。

【請求項3】ブラックバス卵の、清掃は砂や石のある0、3～1、5 M程度の湖沼や川砂のきれいな窪んだ所に巣作りオスがごみを、ヒレを使つて取り除いているので、土手や橋の上からよく見えるので、ブラックバスの卵の撲滅は船上に設置した給水ポンプで吸いあげて撲滅する。

【手続補正書】

【提出日】平成13年7月30日（2001. 7. 30）

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正内容】

【請求項1】魚食性ブラックバスは、餌の魚を一気に飲むので、餌になる魚の体に鉛針を糊のついた紐で装着しさらにゼラチン製で出来た円筒型の中に魚殺し薬剤を保管する。

【手続補正書】

【提出日】平成13年8月13日(2001. 8. 13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

*【補正内容】

【請求項1】魚食性ブラックバスは、餌の魚を一気に飲むので、餌になる魚の金魚の体に鉛針を糊のついた紐で装着し、さらにゼラチン製で出来た円筒型の中に、魚殺し薬剤及び鉛針も保管する。

*

【手続補正書】

【提出日】平成13年9月10日(2001. 9. 10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正内容】

【請求項3】ブラックバスの産卵は、水温が17度Cを超えるところから産卵行われる。期間は4月より8月ぐらいまで、水深0、3(m)→1.5(m)程度の沼湖や石のある砂れきや、水通しがよく、酸素が多い日当てたりのよ場所が選ばれる。産卵場所見つけ次第、船に設置したバキュームで全ての卵を吸い取る、このようにしてブラックバスを増加させない。